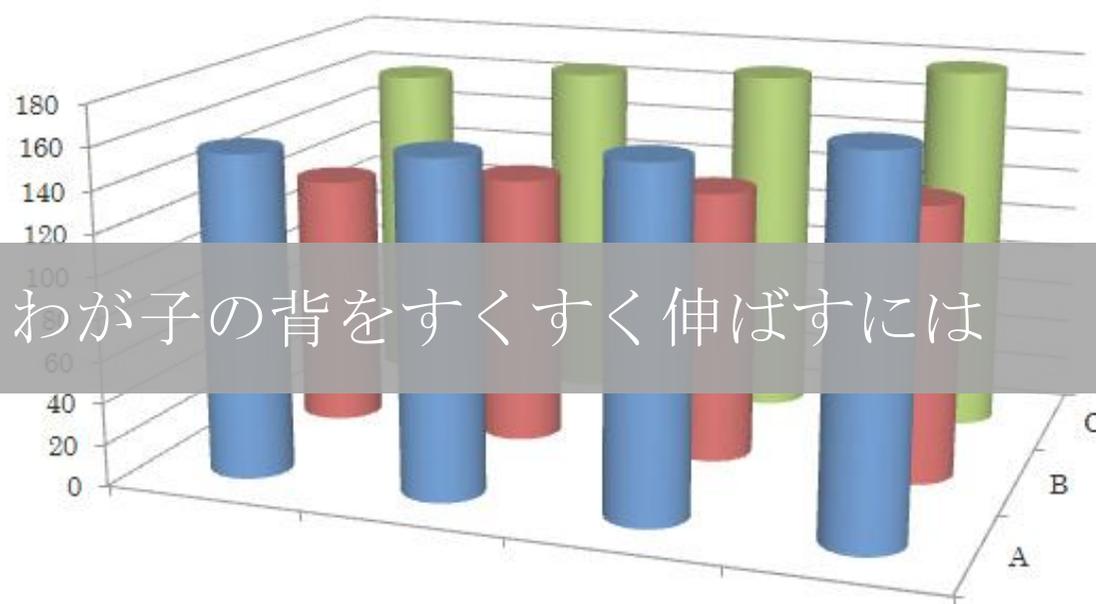


エピローグ



お医者さんが教える

わが子の背をすくすく伸ばすには

風本
真吾

各時期に応じた最大の伸び率を確保するために

4歳の時点で、将来の最終身長は、ある程度は宿命的に定まっています。ストレス、小食などのマイナス要因が働くと最終身長は宿命より低くなります。

逆に、発育・成長の各時期に身体状況を分析し、上手に手を打てば、予想される身長を超えるところまで伸ばすことは可能です。

子どもの背が伸びていく各時期に応じて最大の伸び率を確保することが、最終身長を高くするためのキーになります。「背の伸びをサポートする」というのは、その手法をアドバイスすることです。

「もう手遅れかもしれない」という状況でお子さんを連れてこられるご両親がとても多いのが現実です。本書を読んで十分にご理解いただけたことと思いますが、早期に手を打てば打つほど、確実に子どもの背を高くしてあげることができます。

人の身体に関する問題で日本社会は混乱しています。

高齢者社会、介護、福祉、保険医療制度などの問題は、元を質せば、すべての人の身体に関する問題です。にもかかわらず、日本社会を構成する個々の人たちの身体に関する知識は乏しいのが現状です。それゆえに混乱の度は深まっています。子育てにあたって、当然知っていなければならぬような本書の知識さえ、今までに学ぶ機会がなかったのが現状です。健康教育を振興させることは日本社会の至上課題であるといえるでしょう。

本書により、人体に関する知識のひとつとして、子どもの背が伸びていくプロセス、最終身長を決定するキーポイント、各時期に応じた背を伸ばす手法などを習得していただければまことに幸いです。